

私を揺さぶる、グランプリ。12月16日からボートレース住之江で開幕する1年の総決戦、「SG」第40回グランプリに向けた特別企画。「Road to THE GRAND PRIX」キャンペーン」と題した企画の第5弾として、佐藤隆太郎（31＝東京）が登場する。今年のボート界を彩った東都のニュースターが成長の過程、SG連続V後の発見を語った。  
（取材日＝11月22日）



# 佐藤隆太郎 終わりのなき旅



## 今年SG連続制覇

鮮烈だった若松クラシックでのSG初制覇。一気にもぎ取った丸亀オールスターでのSG連続V。今年のボート界を振り返る上で、佐藤の存在は欠かせない。「SGに関して言えば、いいエンジンをしっかり出して、予選も失敗なく走れたことが優勝につながったと思います」。エース機を引いてもSG優勝に縁がないレーサーはいらぬ。エンジン抽選運に恵まれただけでは、確かな実力がそこにはあった。GIですら無冠の状態だったが、チャンスが来れば、いつでも、ビッグレースを勝てるだけの技術的な成長を遂げていた。

「SGを取れない人もいる中、1個勝てたことで、自分が取れる方なんだと思えた。2個勝てたことに対し、自分では、それほど大きなことを達成したとは思っていません。周りの人の反応で、それを感しました」。

好事魔多し。SG連続V後、8、10月と立て続けにフラインクを切り、F2になった。そんな佐藤を見かねた峰竜太が、こう声をかけたという。「SG2冠は、あと4本（Fを）切ってもいいくらい価値があるぞ」。SG6冠のグランプリレーサーから、大げさ過ぎるほどの激励を受け、大仕事の実感が湧いた。

佐藤はレース後の感情の処理が早い。デビュー直後は、大敗の悔しさを表に出して

## GPのピットにいる自分と

## 勝っている自分

## そのイメージを

## より強固にしていきたい



### 自己紹介

名前	佐藤 隆太郎
生年月日	1994. 5. 7
自分の性格	南国
趣味	子供の観戦
特技	心を読む
得意な決め手	ムドマリ
好きな色	あふこ
好きな食べ物	調味料、ソース
ひと言	アツアツアツ

### 佐藤選手直筆

「プロとして、技術向上は永遠のテーマ。その思いが片隅にあったからこそ、先輩のアドバイスがふに落ちた。「大きな着順を取ると、悔しいことは悔しいです。でも、すぐに、失敗した原因を探り、ペラ調整やターンなど、どこが悪かったかを考えます。そこを修正すれば、うまくなって、いい着順を取れるようになる。だから、落ち込むことはないです」。

「オマエの、そのひょうひょうとしているのは、強みだぞ」。守田の夫・森田太陽さん（引退）は佐藤と同期の115期生。その縁で、以前から言葉を交わすことがあったが、自身の特徴を言われたことは、初めてだった。守田はSG優勝戦1枠で緊張した自身の経験をふまえ、落ち着き払った佐藤に対し、思わず、自身の感情を口にした。佐藤の泰然とした行動、雰囲気は安心感を生み、先輩レーサーの心をも動かす。

## 「更新の繰り返し」

現在、フラインク休みの身。実戦から遠ざかるが、準備の時間はたっぷりある。「GPのピットにいる自分と、勝っている自分、そのイメージをより強固にしていきたい。フラットな感情で、走れるようにしたいです」。レーサー人生を「更新の繰り返し」と位置付ける佐藤にとって、GP出場もゴールではなく、たとえ、優勝しても、終わりのなき旅の途中に過ぎない。初出場V、年間SG3冠が懸かる大舞台で、さらなる成長を遂げる。

6	5	4	3	2	1	枠番	選手名
							佐藤隆太郎
菅 章哉	峰 竜太	野中 一平	仲谷 颯仁	関 浩哉			

↑佐藤選手が考える優勝戦メンバー↑

